

4 指導案例

「ハツカダイコンを育ててみよう」第2次案（本時1／5）

(1) 本時の目標

- ・ハツカダイコンの栽培に関心を持ち、よりよい栽培方法について考えようとしている。【関心・意欲・態度】
- ・1回目の栽培の改善点を取り入れ、栽培時期を考慮しながら2回目の栽培計画を工夫することができる。【工夫・創造】

(2) 準備

ワークシート、資料（1回目に栽培したハツカダイコンの写真）

(3) 指導過程

段階	学 習 活 動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
つ か む	<p>1 1回目に収穫したハツカダイコンを食べた感想を発表する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・辛かった。 ・シャキシャキした食感だった。 ・葉が虫に喰われていて食べる気がしなかった。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目に栽培したハツカダイコンの写真を掲示する。 (栽培方法を振り返るために写真を掲示する) 
見 通 す	<p>2 1回目の手入れ方法を振り返り、2回目の栽培に向けて改善点を考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・夏は害虫が多くなるから、害虫駆除対策をしっかりしておいた方がいいよ。 ・水やりは毎日、数回、続けた方がいい。 ・トマトは水を与えすぎるとおいしくなくなると聞いたけど、ハツカダイコンも同じかな。 ・1回目に使った土の栄養分は足りているのかな。 ・肥料の養分を調べてみよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・1回目に収穫したときの様子を振り返らせたり、ハツカダイコンの大きさや数、味などに着目させたりして、2回目以降どのように育てたいのかを4人班で話し合わせる。 ・意見が単調になったり、出にくかったりした場合は、班の話し合いを終了し、クラス全体で発表交流させる。 ・1回目にうまくハツカダイコンが育てられなかった生徒には、原因を考えさせ、うまく育てることができた友達の意見を参考にするように伝える。 <p>☆1回目の栽培を振り返り、2回目の栽培方法の改善点を見つけることができたか。 (話し合い・発表) 【関】</p>
確 か め る	<p>3 2回目の栽培計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを基に、自分の考えた2回目の栽培計画を立てる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目の種まきは梅雨の時期だから、雨に流されない場所にポットを置こう。 ・害虫除けのネットは、前回よりも早めにつけた方がいいかな。 ・日中の気温が30℃を超えるので、水やりは早朝にしよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・手入れ方法を振り返り、確認させる。 ・教科書を参照しながら土の養分にも目を向けさせる。 ・ワークシートに1回目の栽培と比べて工夫した所（改善した所）も記入させる。 ・種のまき方や深さ等、ポットや容器、土などを使い、室内で実際に行うことで栽培計画に役立てることができるようにする。 <p>☆1回目の栽培の改善点を取り入れ、栽培時期を考慮しながら2回目の栽培計画を工夫することができたか。(ワークシート) 【工】</p>
生 か す	<p>4 自分の栽培計画を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・準備も手軽に行うことができるので、家庭でも実践できることを伝える。 ・夏以降も実践できるよう、しっかりと記録を取ることを伝える。

(3) 評価

- ・1回目の栽培の改善点を自分や友達の実験から見だし、よりよいハツカダイコンを栽培するために、栽培時期を考慮しながら2回目の栽培計画を工夫することができたか、ワークシートや授業の様子から判断する。